

既に新聞などマスコミでも取り上げられているとおり、「記憶 反省 そして友好」と刻まれた朝鮮人強制連行の追悼碑（2004年建立）の設置更新を、群馬県が許可しないと通告したことが問題となっています。

運営委員会で協議した結果、本会から県知事宛に抗議と要請を行うこととし、8月4日付で下記の書面を送付しました。

2014年8月4日

「朝鮮人強制連行追悼碑」撤去の方針で群馬県知事への抗議と要請

群馬県知事 大澤正明様

抗議と要請

貴職が群馬の森にある「朝鮮人強制連行追悼碑」撤去の方針を決めたことに強く抗議します。そして、碑の撤去の方針を撤回し、設置の更新を行い、碑を存続させることを強く要請します。

日本が犯した過去の過ちを真正面から見つめ、反省して、克服することが、アジア諸国からそして世界から真に信頼される日本になる道だと信じます。碑の撤去はその道を塞ぐこととなります。

また、碑の撤去は日本自身を軍国主義の時代に逆戻りさせる道につながるものです。日本が戦後培ってきた平和と民主主義をさらに希求する道を群馬県が歩むことを私たちは切に希望しています。

貴職が碑の存続の英断を下されることを心から要請致します。

関東大震災朝鮮人虐殺の国家責任を問う会